



Andrew Woolner photography awoolner.com

2020年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大より、緊急事態宣言下での活動実施は非常に厳しいものでした。当初の計画通りに実施ができないところから見直しを多く迫られました。プロジェクトメンバーの熱意と工夫によって、オンラインでの実施に切り替えながら、できることを試みた一年でした。今年度は、インド在住のメンバーと中継をつないでライブでのオンラインツアーを実施。IT技術を駆使しながら、国境を超えてつながる企画ができたのは、逆境に置かれたからこそ。苦しい時期を経て、私たちチームは一つ階段を上ることができました。また、今年度は、認定NPO法人あっとほーむの協力のもと、学童の児童向けにプログラムを提供し、対象とする小学生に子ども多文化交流事業を実施しました。今後、本事業を広く学童や教育施設で展開していくにあたり、大変貴重なフィードバックをいただきました。この場を借りて御礼を申し上げます。2年間に渡って、子ども多文化交流事業を助成いただきましたドコモモバイルコミュニケーションファンドの皆さまはじめ、今年度もたくさんの方々のお力添えで事業を進めることができました。ありがとうございました。

NPO法人Sharing Caring Culture 代表理事 三坂慶子

## 01 実施スケジュール

参加人数 153名 (2019年度 103名参加)

参加した子どものルーツ:ドイツ、タイ、フィリピン、中国、マレーシア、インド、イギリス、カナダ、インドネシア、オーストラリア、パキスタン、日本

- ① 2020年10月31日 ハロウィン (都筑中央公園)
- ② 2020年11月15日 多言語おはなし会～英語、中国語、タイ語、日本語 (都筑民家園、都筑図書館 共催)
- ③ 2020年12月6日 子どもと楽しむインドオンラインツアー(Zoom)
- ④ 2020年12月20日 クリスマス (山内地区センター)
- ⑤ 2021年1月23日 韓国ソウル発～打楽器体験でBTS音楽の秘密を知る(Zoom)
- ⑥ 2021年1月31日 オンラインクッキング 太巻寿司づくり (Zoom)
- ⑦ 2021年3月28日 イースター (都筑中央公園)
- ⑧ 2021年4月18日 多言語おはなし会～ドイツ語、英語、スペイン語、日本語 (都筑MYプラザ)
- ⑨ 2021年7月31日 オンラインイベント 健康から考えるSDG's～暑い国タイ (有限会社グランジャポン、東急Sレイエス共催)
- ⑩ 2021年11月21日 インド料理親子クッキング (仲町台地区センター 共催)
- ⑪ 2021年11月28日 子ども多文化交流事業活動報告イベント ちらりとアジア (都筑民家園 共催)

学童向けプログラムー認定NPO法人あっとほーむ モニター実施 31名参加

- ① 2020年12月23日 インドのお祭りディワリってなに? (オンライン)
- ② 2021年3月23日 タイってどんな国? (オンライン)
- ③ 2021年10月30日 ハロウィンーアジアのおばけくらべ (対面)

## 02 活動の成果

多言語読み聞かせは、都筑図書館との協業のほかに、神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぶらざ）からも依頼をいただき、2021年3月21日に「アジアぐるっと絵本の世界」という企画名で実施。また、海外にルーツを持った児童を受益者とする当法人の活動に注目した東京都美術館よりダイバーシティ・プログラムへの企画協力依頼もいただき、2020年11月23日にやさしい日本語プログラム「うつくしい文字ってどんなかたち？」を実施。当法人が通訳を担当するほか、海外ルーツの子どもたちとその家族へのサポートを担いました。これまでは、横浜市北部地域を拠点として活動していましたが、今年度は他地域からの呼びかけが増えるとともに、カシオ計算機株式会社の電子ピアノ「カシオトーン」への外国人家族の出演依頼なども受け、企業や外部組織の”ダイバーシティ”への意識の高まりを強く感じました。さらに、コロナ禍でありながらも過去にないペースでサポート希望者が増えているのも今年度の成果として顕著に表れています。2021年4月以降、半年間の間にサポーター登録したいという問い合わせを続々といただくようになり、10名が登録。異国の地での子育てに苦勞した日本人の主婦が多くを占めますが、中には20代、30代の未婚のサポーターもいて、子育て層を中心としたこれまでの属性から広がりが出ています。

## 03 未来に向けて

2019年度より2年間取り組んだ子ども多文化交流事業は、タイ、インドネシア、マレーシア、インド、韓国、中国などのアジア圏出身の講師のほか、イギリス、ドイツ、コスタリカ、日本の講師にも協力いただき、子どもたちの多文化理解を推進してきました。毎回参加者の子どもたちはシールを使って、その日の活動を振り返る時間を設け、子どもたちが文化的な違いに気づいたり、関心を持ったりしたのかを観察しました。読み聞かせに参加した12歳の日本人児童は、「言葉がわからなくても楽しめた」と感想を綴っており、異なる言葉に興味を持ったそうです。インド料理の親子クッキングでは、日本のお米とは違うインドのお米を手で触るだけでなく、興味深く匂いまで嗅ぐ子どももいました。これら2年間の取り組みと今年度モニターとして協力をいただいた学童からのフィードバックを元に、今後は、コンテンツを多文化理解教育プログラムとしてパッケージ化し、学童はじめ教育施設での提供を試みていきます。また、オンラインでのプログラム実施の経験を活かしながら、全国の、特に多文化に触れる機会の少ない地方の学童や国際交流協会が設置されていないような地域で実施し、日本の子どもたちの多文化理解を促進するとともに、海外ルーツの子どもたちが安心して過ごせるような多様性を尊重する社会を目指して、子どもたちのグローバルマインドや人権感覚を育てていきます。

### 後援・協力

本事業の実施に際しまして、助成金を授与していただいたNPO法人モバイルコミュニケーションファンド様はじめ、ご講演いただきました都筑区地域振興課の皆さま、また協力企業としてご一緒してくださった皆さまに心から御礼申し上げます。

NPO法人モバイルコミュニケーションファンド / 都筑区役所 / 都筑図書館 / 都筑民家園 / 東急Sレイエス / 仲町台地区センター / 認定NPO法人あっとほーむ / 有限会社グランジャポン（50音順）

### NPO法人Sharing Caring Culture

Email: info.sccjapan@gmail.com <https://sharingcaringculture.org>



この報告書は、2020年度ドコモ市民活動団体助成事業からの助成金により制作しました。

